

人間社会学部／社会福祉学科	職名	教授	氏名	住友雄資
---------------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

厚生労働省の発表によると、わが国には300万人を超える精神障害者がいます。精神科病院に入院している精神障害者は約35万人ですので、大多数は地域で生活しています。しかし、差別・偏見を受けやすい精神障害者や家族は、地域で生活しづらい状況が続いています。そこで、ソーシャルワークの視点から、精神障害者が地域で生活しやすい援助・支援法の開発とそれを下支えする社会環境を構築する方法を研究しています。そのためにはケアマネジメントという技術とケアマネジメントが有効に機能するシステムが不可欠で、両者を統合した地域サポートシステムを構築する研究をおこなっています。またケアマネジメントを担う福祉専門職が必要になりますので、その観点から精神保健福祉士等をどのように養成するかということも研究しています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 住友雄資 (2023) 「精神保健福祉領域におけるソーシャルアクションの課題—2022年の精神保健福祉法等改正から—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』32(1), 37-53.
- ・ 藤原朋恵・住友雄資 (2022) 「女性精神保健福祉士の『仕事と子育ての両立』に関する研究動向と課題」『人間科学』4, 1-9.
- ・

②その他最近の業績

〈書評〉〈教育実践報告〉

- ・ 住友雄資 (2025) 「書評 狩野俊介・野村照幸編著『危機がチャンスに変わるクライシス・プラン入門』中央法規出版」『福岡県立大学人間社会学部紀要』33(2), 151-158.
- ・ 住友雄資 (2024) 「書評 波名城翔『自殺者を減らす！ゲートキーパーとしての生き方』新評論」『福岡県立大学人間社会学部紀要』33(1), 107-112.
- ・ 鬼塚香・住友雄資 (2022) 「2021年度教育実践報告『精神保健福祉演習』—『なりきりプレゼンテーション』導入の効果と課題—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(2), 77-85.

③過去の主要業績

- ・ 住友雄資 (2007) 『精神保健福祉士のための地域生活支援活動モデル』金剛出版。(単著)
- ・ 住友雄資 (2001) 『精神科ソーシャルワーク』中央法規出版。(単著)
- ・

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

一般社団法人日本社会福祉学会 査読委員
日本精神障害者リハビリテーション学会 査読委員
日本ソーシャルワーク学会 査読委員
日本職業リハビリテーション学会
日本地域福祉学会
一般社団法人日本精神保健福祉学会

6. 担当授業科目

(学部)

教養演習・2単位・1年・前期, 精神保健福祉の原理Ⅱ・2単位・2年・後期, 精神保健福祉制度論・2単位・3年・後期, ソーシャルワークの理論と方法F・2単位・3年・後期

(大学院)

社会福祉研究法・2単位・前期, 質的研究法・1単位・前期, 精神保健福祉研究A・2単位・前期, 精神保健福祉研究B・2単位・後期, 特別研究・4単位・通年

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等